

## 果肉が濃赤色で空洞が少ない大玉スイカの新品種‘あきた夏丸’の育成

椿 信一・檜森靖則

(秋田県農業試験場)

Breeding of a New Watermelon Cultivar "Akita Natsumaru"

with Deep Red Flesh and No Hollow Hearts

Nobuichi TSUBAKI and Yasunori HIMORI

(Akita Agricultural Experiment Station)

### 1. はじめに

秋田県のスイカ出荷量は全国第11位(2003年)で、ブランド野菜の一つに認定され、生産が振興されている。主要作型の大玉スイカ露地普通栽培は、疎植で株あたりの着果数を多く必要とするため、品種の選定には、玉揃いが良く秀品率が高いといった特性が不可欠である。また、近年、核家族化の進行に伴いカット販売が主流となっているため、空洞果が発生しにくく果肉色の鮮やかな特性も求められている。そこでこれらの条件を満たし、さらに他産地と差別化できる本県独自の大玉スイカ育成を図った。

### 2. 育成経過

‘あきた夏丸’は、市販の大玉系F1スイカを素材にして、本県の気象条件下で選抜を繰り返して育成した固定系統間のF1である。1996年に市販F1品種を導入して育種を開始し、2000年にF5世代で固定を完了した。母本(H09s-IW-1)は‘鶴の泉’の後代固定系で玉揃いなど栽培上の特性に優れ、父本(H09s-TI-2)は‘紅力’後代固定系で果肉色や糖度など果実品質に優れている。両者を組み合わせたF1品種を2001年から特性調査と現地試験を実施して有望と認め、2004年に品種登録出願を申請した(出願番号第16927号)(図1)。

### 3. 特性概要

#### (1) 立毛特性

草勢がやや強く、節間が長く、葉も大きく、生育が旺盛である。着果は安定しており、圃場での裂果は少ない(表1)。

#### (2) 成熟期

開花後44日程度の中生で、収穫が遅れても変形や肉

質の低下が少なく、収穫適期幅が約7日と長い(表1)。

#### (3) 果実外部特性

平均果重が8.2kg程の大玉である。果形はやや腰高で果皮が濃緑色、条斑は太く鮮明である。玉揃い良く、変形果の発生は少ない(表2、図2)。

#### (4) 果実内部特性

糖度が12.7%と高く、果肉が鮮やかな濃赤色で、空洞やうるみが発生せず、切断時の肉割れがほとんど見られないことから、カット販売にも適している。肉質は硬めで歯ごたえがあり、シャリ感が強く食味が優れている(表2、図2)。日持ち性は高く、シャリ感が収穫後10日程度持続する(表2)。

### 4. 栽培、普及上の留意点

着果が安定していることや伸長性も強いことから、露地普通栽培の他に、より早い作型の整枝栽培、トンネル移動式栽培にも適する。

草勢が強めなことから、基肥施肥量は慣行より減じる。また、着果後につるの伸長が止まるため、追肥は慣行と同等とする。台木は弱勢台木を使用する。

### 5. まとめ

露地普通栽培に適した赤肉大玉スイカ‘あきた夏丸’を育成した。‘あきた夏丸’の果肉は鮮やかな濃赤色で空洞やうるみが発生しにくく、カット販売にも適している。また糖度が高く、肉質が硬めでシャリ感が強く、食味が優れている。

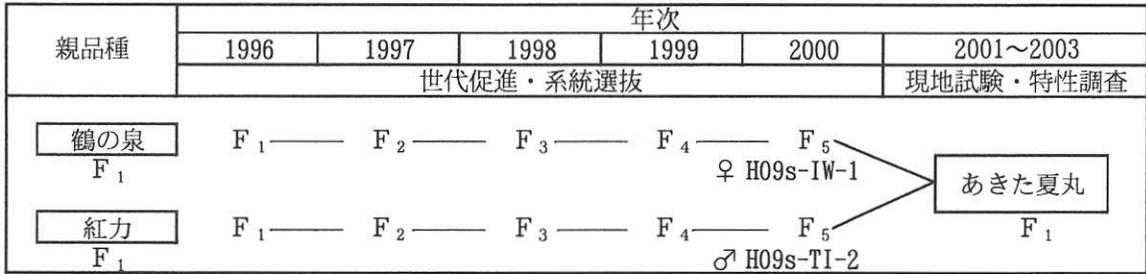


図1 ‘あきた夏丸’の育成経過(世代)

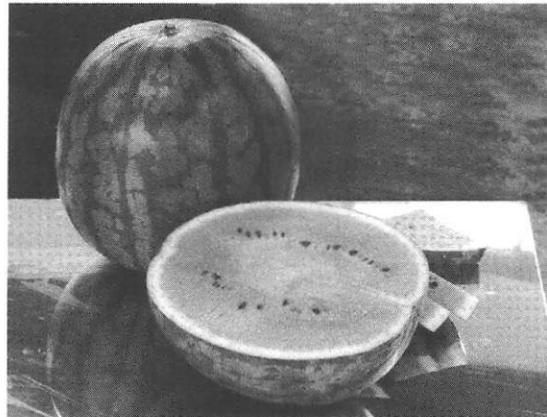


図2 ‘あきた夏丸’の果実

表1 立毛特性(2002~2004年の平均、育成地)

品種名	草勢	主づる長さ (cm)	主づる太さ (mm)	節間長 (cm)	葉長 (cm)	葉幅 (cm)	開花時花粉量	着果性	裂果数/株 (個)	成熟日数 (日)	収穫適期幅 (日)
あきた夏丸	やや強	436	5.3	10.4	25.5	22.0	中	良	0.4	44	7
必勝(対照)	やや弱	362	4.9	7.9	21.0	15.5	中	良	0.7	46	4
甘泉(参考)	やや弱	388	5.6	9.5	23.0	16.0	多	良	0.5	41	4

耕種概要 露地普通栽培:畝幅5m、株間1m、10本整枝5果どり、台木はドンK。2002年は播種3月27日、定植4月24日、収穫7月29日。2003年は播種4月1日、定植5月6日、収穫8月1日。2004年は播種4月2日、定植4月30日、収穫8月3日。施肥量(N:P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:K<sub>2</sub>O kg/10a):2002年は15:19:10、2003年は16:20:10、2004年は14:18:9。主な立毛は収穫時に調査した値。

表2 果実特性(2002~2004年の平均、育成地)

品種名	平均果重 (kg)	縦横比	果皮色	条斑太さ	玉揃い	変形	糖度 (Brix %)	果肉					日持 <sup>v</sup> ち性	
								色	空洞 <sup>z</sup>	うるみ <sup>y</sup>	硬度 <sup>x</sup>	硬さ		シャリ <sup>w</sup>
あきた夏丸	8.2	1.07	濃緑	太	良	少	12.7	鮮濃赤	0.0	0.0	0.32	硬	強	良
必勝(対照)	8.3	0.98	緑	中	良	少	12.2	濃桃赤	0.0	0.2	0.22	軟	強	中
甘泉(参考)	7.9	1.04	やや濃緑	太	中	中	12.8	濃赤	3.0	0.0	0.24	やや軟	弱	中

耕種概要は表1に準ずる。

Z空洞:程度を0(無)、1(微)~5(甚)とした5果の平均値。Yうるみ:肉質が水浸状になる現象、程度を0(無)、1(微)~5(甚)とした5果の平均値。X硬度:直径5mmの円柱形プランジャーを使用。Wシャリ:シャリシャリとした歯触りの程度。V日持ち性:収穫後室温での適食期間で表し、悪(収穫から5日程度)、中(収穫から7日程度)、良(収穫から10日程度)とした。